

野田・九条通信

2006年・12月号
NO13
「野田・九条の会」事務局
TEL 7122-0502
ホームページ http://www17.ocn.ne.jp/~art.9/

十一月月例会と活動の報告生口

内閣変わって 憲法改悪への動きが一層明らか 「九条の会」活動促進へ 来年度の活動計画立てる

「元氣」をくれた小森陽一氏の講演会が終わった。十一月月例会は、参加者からそれぞれ感想を出し合い、「講演会」の取り組み内容をまとめ、次の運動方向を話し合いました。

ほとんどの人から「良かった」との感想が出され、「あのような講演ならもっと多くの人に聞かせたかった」「三百人も集まりたいしたもんだ」の声で、取り組みの成功が確認されました。

一方で、「怖くなって帰った人がいた。警察の警備は過剰ではないか」などと、問題点の指摘もありました。

毎月の例会を充実させ
春・夏・秋の取り組み

今後の取り組みについては、阿部首相が「五年以内に憲法を変える」と明言するときにだけ、「会」の運動も急速に盛り上げていく必要性が話し合われ、新年度の活動

方針が決まりました。

①には、春・夏・秋の年に3回、大きな取り組みを行ない。

②には、毎月の例会に合わせて「戦争体験を語る会」や「〇〇勉強会」などの催物を行ない、賛同者に参加を呼びかける。

③には、事務局で具体化することになりました。

全国交流集会の
ビデオ観賞をします

十二月例会では、今年六月に行なわれた「九条の会・全国交流集会」のビデオを観賞し、全国の運動に学び、野田での活動促進に活かしたいと思

います。多くの皆さんの参加をお願いします。



場所・樺のホール内
多目的スタジオ

日時・12月9日(土)
午後1時～5時

前半をビデオ観賞とし、後半を例会とします。

今回の例会では、これからの運動内容を具体化します。是非ご参加を。

九条への想い 五十嵐きよみ(野田訪問看護士)よかせ九条の会 子達の未来が戦争の無い世の中に

野田南部訪問看護ステーションよかせでは、昨年より職場九条の会を結成し活動しています。

私自身看護師、ケアマネージャーとして現場で命と生活に関わっています。また、3人の子供達の子育て最中、まず母親としてこの子達の未来が、戦争の無い世の中であること強く願っています。

そこで、まず身近でできることから、職場九条の会に取り組みました。日常的には、患者さんへの訪問看護の際に、9条Tシャツを着て訪問看護に出ています。「この9って何?」とよく患者さんから聞かれます。

そこで憲法9条について説明をする。と、「戦争はいやだよ」などの言葉が聞かれます。また、吉永小百合さんが言われる「人間は言葉というすばらしい道具を持っています。報復ではなく、粘り強く話し合うこと」が大事だと思えます。

武器ではなく、憲法9条が私たちが守ってくれます。これからも憲法のことを学び、広めることを工夫していきたいと思っています。



ニュース

アジアの平和を九条で
初の憲法セミナー

「九条の会」主催で、「アジアの平和を九条の心で」と題する憲法セミナーが25日、明治大学で行なわれました。

呼びかけ人の加藤周一氏、作家の辻井喬、澤地久枝氏が参加。澤地さんは、自らの戦争体験を語りつつ、武器なき平和の理想が日本国憲法に体现したと述べ、「この憲法を泣かせてはならない。決してあきらめることなどできないことをしている」と呼びかけました。

「会」事務局は、この憲法セミナーで、全国の草の根の「九条の会」が5639に達したことを発表しました。

映画「日本の青空」

1月にクラシク・インGHQがお手本にしたと言う、憲法草案を作った民間人を中心に、憲法誕生を巡るドラマ。憲法改悪に真向から反対する映画作品です。

監督は大澤豊氏。出演する俳優は、加藤剛・宍戸開・高橋和也などです。